



教育

 総合的な学習の時間・和紙のお話会

2022年12月13日

三浦市立初声小学校（神奈川県三浦市初声町）

三浦市立初声小学校より依頼を受け外部講師として木南が登壇しました。

小学校4年生「国語下」（光村図書）に載っている、和紙文化研究会副会長の増田勝彦先生執筆の「世界にほこる和紙」では、丁寧に作られた伝統的なものが持つ価値を伝えています。

授業で学んだばかりの4年生と、花壇の楮を手入れしている5年生を合わせ140名程度が体育館に集められました。PIARAS 親善大使 2021の河内さんが和紙を持って舞台前に立ちデモンストレーションを。質問時には沢山の手が上がり、聞き手側の子ども達も楽しんで参加して下さいました。

 別所小学校4年生の総合学習

2023年1月17日

神奈川県横浜市別所小学校（神奈川県横浜市南区別所）

小学校4年生の総合学習として紙漉き体験を実施するにあたり、東京戸倉和紙（あきる野市）の和紙職人北村春香さんに講師をお願いしました。北村さんの紙漉き体験は、匂い・感触など五感で感じさせる語りや、叩解作業では歌を取り入れるなど、原料処理から紙漉きを通し、作る「思い」に踏み込んだ授業を展開されました。

女性の職人ならではの柔らかな雰囲気の中で行われた授業に子供達もリラックスできたようです。

PIARAS がコーディネーターとして関わりました。



担当教諭からのコメント

総合の学習で牛乳パックでの紙漉きを行ってきた子どもたちですが、国語で学習した和紙に関心を持ち、コウゾの枝から紙を漉くまでの貴重な体験をさせていただきました。

皮をむき、みんなで歌いながら何度も叩いて繊維をほぐし、自分の手で一枚の紙を漉く作業を通して、五感を使いながら、自然と一体化したものづくりを感じていました。

できあがった和紙の美しさも心に残りました。北村さんと木南さんの和紙にかける情熱にも心打たれていました。

楮栽培支援活動「三浦手漉き和紙を考える会」（神奈川県三浦市初声町）

「久保製紙」（埼玉県比企郡小川町）にて紙漉き研修、三浦手漉き和紙誕生

- ・煮熟、チリより、叩解 2022年6月23日
- ・流し漉きと溜め漉き、紙干し 2022年7月1日

このプロジェクトは2019年久保製紙（小川和紙）の久保孝正さんから余った楮苗を頂いて、三浦の畑に植えたところから始まりました。以降、PIARASが活動をサポート、久保さんには指導者として和紙制作に関する疑問に答えて頂いています。久保さんの工房をお借りして、三浦産楮100%、光沢のある丈夫な三浦手漉き和紙が誕生しました。



三浦市吉田市長に三浦和紙完成を報告

2022年8月16日

日蓮宗「円徳寺」の村山智洋ご住職に揮毫頂いた三浦手漉き和紙の賞状を持参し、これまでの活動報告。2022年3月より本活動に参加しているPIARAS親善大使2021の河内愛稀さんも同席されました。



初声小学校楮苗の学校花壇植樹 2022年9月21日

初声小学校の八巻貞司校長のご理解・ご共感のもと、児童が手入れをして育てた楮で、卒業時に記念となる和紙を作るプログラムがスタート。

2022年度は5年生74名による楮苗12本の学校花壇植樹が行われました。

初声小学校は「総合的な学習の時間」に『ふるさと初声』のテーマを掲げ、児童による探求的な学習に取り組んでいます。学校の教育目標は『自ら学び 未来を創る初声っ子』。地域の繋がりを作る手漉き和紙活動が、家庭・地域との連携・協働する「開かれた学校づくり」を加速し、『初声小の伝統の活動』になるのではないかと取り組みが始まりました。



初声小学校 楮の原料処理作業 2023年3月6日、7日

伐採・楮蒸し・楮皮剥ぎ・黒皮取り・乾燥などの原料処理作業を全て三浦市で行うことが2022年度の目標です。校庭で火気を扱う許可をとって頂き、楮蒸しの釜を2台設置。家庭科室で蒸しあがった楮の皮剥ぎ黒皮取りを行いました。卒業記念和紙制作プログラムの定着に向けた順調なスタート。



三浦市民交流センターまつり 2023年3月12日～18日

三浦手漉き和紙を考える会の活動紹介（三浦市民交流センターニナイテベシヤ）

◆本活動のご協力◆

埼玉県小川和紙 久保製紙 様、株式会社モーリ 様

学習会 和紙旅

第10回 手漉き和紙の里を訪ねる旅 沖縄県手漉琉球紙工房【蕉紙庵】

2023年2月1日～3日

手漉琉球紙工房【蕉紙庵】（沖縄県那覇市儀保）

沖縄県北部で採れる芭蕉の葉を原料とした芭蕉紙を作っている安慶名清さん。ギャラリーには、琉球青雁皮や三楹で作った和紙に、フクギ・藍・コチニール等を使った草木染めの和紙、芭蕉紙が丁寧に整えてあります。毎年恒例の和紙旅工房体験では、芭蕉紙料の塵より！参加者全員が初めて芭蕉の繊維に触れました。水に浸かっている芭蕉の繊維についた小さな塵をピンセットで摘み取っていきます。この作業が目も指も酷使するので大変、と安慶名さんは話して下さいました。

2022年にお亡くなりになった大宜味村の人間国宝

（芭蕉布）の平敏子さんより、布織りで使う糸芭蕉の繊維を採りあげた後に残った繊維を、和紙のために下さることになったそうです。ひとつの原料を余すことなく使い分けする循環型の産業構造に。

そして、最大のトピックスはその日の夜、安慶名さんが宿泊先まで三線を持参し演奏を下さるサプライズも！さすがは、沖縄ですね！



安慶名清さん

PIARAS 親善大使 2021 河内愛稀さんの手漉き和紙活動

手漉き和紙で作るちぎり絵プログラムを実行

2022年8月27日

在日難民支援活動を行っている河内愛稀さんが、社会福祉法人さぼうと21で支援を受ける子どもたちに向けて、手漉き和紙で作るちぎり絵「向日葵」（PIARAS監修）のオンライン講習を実施されました。

手漉き和紙の原料や製造の様子を写真でご紹介しながら、子どもたちが理解しやすいように、大きなサイズで作った型紙やお手本を見せて解説。完成したちぎり絵を画面越しに見せ合うなど、愛稀さんを通して子供たちは日本の文化を楽しみました。

【社会福祉法人さぼうと21】

@support21.jp 主に日本で生活している難民、中国帰国者、日系人とその子ども達等、定住外国人の方々の自立支援活動をする団体



花紙絵教室で和紙花作り

板目が綺麗な文庫和紙（小川和紙）で優雅なオリエンタルリリーを制作。和紙を思い通りにちぎることに慣れて、どんどん上達されています。



第三回【ワールドベアコンテスト 2022】審査結果発表

第三回「ワールドベアコンテスト 2022」2022年9月1日募集開始・11月7日グランプリ発表！
芸術の秋の創作意欲をかきたてるようなバラエティ豊かな作品が集まりました！

グランプリ

冷え性くまちゃん 山本京子様



ワークショップ賞

レインボーベア 香取玲那様



カラフルベアー 相馬暢仁様



PIARAS賞

Gift 柿田祐子様



絵描きパパ 藤田純麗様



フォトジェニック賞

巨匠のパンフルートコンサート
日本ルーマニアパンフルート協会



キャラクター賞

ハッピーハロウィン 府川亜希子様



審査員特別賞

イギリス/近衛兵 植田始様



手漉き和紙の匠賞

吉野和紙ベア 河内愛稀様



ふわもこベア 小関紀子様



第三回 PIARAS ワールドベアコンテスト 2022 受賞作 PV 見てね！



動画は
こちら



フォトグラファー 山下由紀子さんに
受賞ベア紹介動画を作って頂きました！

山下由紀子さんからの制作コメント

マスク生活の影響が多少あるのか、今年は目・鼻のないベアが多かったので、表情の出し方を工夫しました。
グランプリ、和紙の匠賞、ワークショップ賞、審査員賞、PIARAS賞、フォトジェニック賞、キャラクター賞。それぞれの和紙の使い方、風合いが感じられるように動画を作成しました。

審査員の先生をして下さっているのは、賛助会員・手漉き和紙親善企業の4名様。
PIARASの和紙普及活動でご協力頂いている芸術家・キュレーターでご活躍の皆様に加わって頂きました。

一瀬正廣さん(株式会社小津商店)
宇佐美雅浩さん(写真家・芸術家)
ウスタミホさん(音楽家)
川上則子さん(和紙ちぎり作家)
田中裕子さん(グラフィックデザイナー)
山下由紀子さん(フォトグラファー)
(五十音順)

田中裕子さんからの審査員コメント

子供の時に体験した事は、時間が経っても何かのときに記憶が蘇りつながっていくと思います。和紙に触れるチャンスが少ない子供達(大人も)にとって、ワールドベアコンテストは和紙に触れる絶好の機会です。3回目も楽しい可愛いベアが生まれました。PIARASの素敵な企画がこれからも長く広く続きますようにと願っております。

■第三回ワールドベアコンテスト 2022 の審査結果発表詳細
■第四回ワールドベアコンテスト 2023
(予定：2023年9月募集スタート・10月20日募集終了・11月1日結果発表)
PIARAS ホームページにてご覧いただけます。

ワークショップ・イベント

 **「手漉き和紙の原料の楮を知ろう」展示**
2022年11月6日～12日
板橋区立赤塚植物園 ウェルカムセンター内 森のアトリエ（東京都板橋区赤塚）

赤塚植物園が主催する、手漉き和紙の原料の楮をテーマにした展示にPIARASが協力しました。

展示だけでなく、ガラス和紙デコレーションの体験、特大楮ツリーの展示とミニ楮ツリーワークショップ（11月5日 講師 木南有美子）、手漉き和紙の里を訪ねる旅でお世話になった日本全国の手漉き和紙産地をデジタルサイネージでご紹介、「第三回PIARASワールドベアコンテスト2022」の受賞作ベアの展示など、PIARASのさまざまな活動をお伝えすることができました。

また、和紙原料の楮をテーマとした展示会ということで、「三浦手漉き和紙を考える会」から4株の楮の苗が寄贈されました。根がついてしばらく鉢で育てた後に地面に下ろすそうです。和紙の縁はどんどん広がっていきます。



 **「いたばし夏ボラ 2022」—手漉き和紙でオンリーワンベアを作ろう！—**
2022年7月23日、25日、27日、29日
いたばし総合ボランティアセンター（東京都板橋区本町）

毎年好評頂いている「PIARASベア」ワークショップを2022年度も開催。4日間のワークショップで述べ30体の可愛いオリジナルベアが誕生し、そのうち3つがワールドベアコンテストでワークショップ賞を獲得しました！



担当講師：オニール陽子、斉藤里織、PIARAS親善大使2021 河内愛稀さん

 **吉野町商工会[吉野匠展]**
2023年1月24日～28日
小津和紙 小津ギャラリー
（東京都中央区日本橋本町 小津本館ビル2階）

新型コロナウイルス感染症5類に位置付けることが検討され始めた2023年1月。3年ぶりの開催となった吉野商工会主催【吉野匠展】。手漉き和紙をはじめとした奈良県吉野町特産品展示販売。吉野でしか買えない特産品が会場いっぱい並びました。また、福西和紙本舗六代目福西正行さん直伝の紙漉き体験、吉野山観光協会山本義史さんのギャラリートーク、あかり工房吉野の坂本尚代さんの体験教室も行われました。



前列
吉野観光大使 石田紗英子さん、
福西正行さん、
PIARAS親善大使 河内愛稀さん

 **SDGs×日本再発見講座【手漉き和紙でSDGs】**
2022年11月19日
麻布図書館5階視聴覚室（東京都港区六本木）



第一部「手漉き和紙でSDGs—和紙で日本を旅する」木南有美子 いろいろな和紙産地の紹介、【楮栽培支援活動】についてお話ししました。

第二部「和紙の封筒装飾ワークショップ」オニール陽子 成島和紙（岩手県花巻市）で封筒作り。水彩絵の具等でつけた模様、水を垂らしてぼかしを作るなど、手漉き和紙が持つ特徴を体験出来るワークショップ。ご参加された皆様も様々に創意工夫して楽しんでいらっしゃいました。

 **いたばし結まつり**
2022年11月27日
板橋グリーンホール（東京都板橋区大山東町）

いたばし総合ボランティアセンターが主催する【いたばし結まつり】に登録団体として参加し、ワンコインで購入できる和紙グッズの展示販売を行いました。



 **川上則子さん 和紙画展**
2023年2月12日～18日
交通会館 ギャラリー 玻璃（東京都千代田区有楽町）

PIARAS会員の川上さんがちぎり絵作品を集めた個展を開催、オリジナルじゃばらマイブックの作品を展示販売し完売。東京の中心という場所柄、沢山の方が足を止め、眺めていらっしゃいました。



川上則子さん
ちぎり絵作家・PIARAS花紙絵 特別講師・
じゃばらマイブックインストラクター

一般社団法人全日本ヨガ連盟【ヨガの聖地®】の認定証を琉球紙で制作

2022年6月1日

神の島と呼ばれている久高島がヨガの聖地®（全日本ヨガ連盟）に認定されました。安慶名清さんの琉球紙（蕉紙庵）を使い、印刷・金箔押し加工は株式会社トキワ 若林陽介様によるものです。



ミス・ワールド・ジャパン 2022 日本大会

2022年9月22日

会場：ヒューリックホール東京（千代田区有楽町）

ミス・ワールドは、世界3大ミスコンテストの中でも最も歴史が長く、1951年にイギリス・ロンドンで第一回大会が行われて以来、71年にわたって毎年開催され、出場国最多133ヶ国のミスコンテストです。

日本代表を選ぶ日本大会で、グランプリに選ばれた山口佳南さんに、PIARAS 木南がプレゼンターとして【ヨガの聖地®】からの賞品を授与、また、【日本伝統文化賞】を受賞された石川県ご出身の小笠原好美さん、国谷妃菜乃さんの2名に襟を授与させて頂きました。おめでとうございます。



PIARAS 親善大使 2022 小笠原好美さん

小笠原好美さんは石川県金沢市在住。ミス・ワールド JAPAN2022 日本伝統文化賞受賞。手には小笠原さんが作った石川県の能登仁行和紙と二俣和紙で作ったPIARAS ペア。これからのご活躍を楽しみにしています。



ご挨拶

PIARAS は、様々な地域や他分野の方々から応援を頂き 10 年を超える活動となりました。心より御礼申し上げます。続ける事で見える事、気が付くことがあります。伝統と冠が付くものごとは、人の考えや心の変化・行動が積み重なって残された結果とも言えます。その中でも手漉き和紙は、そのもの自体は最終形ではなく、誰かに使われるために作られる点で他の伝統工芸品とは違います。紙漉きさんは、その先に使う誰かを常に意識しながら漉き船の前に立ち、心の動きを制止して身体を道具のように使って漉き続けます。なぜ、今こうして私たちが和紙に触れることができるのか。そんな方面からも考えを深めて和紙と向き合っていきますので、今後も応援のほどよろしくお願い致します。

PIARAS 理事長 木南有美子
特定非営利活動法人 PIARAS -手漉き和紙を普及する会-

2023 活動予定

- ❖ 花紙絵教室 新クラス開設 講師：オニール陽子
- ❖ PIARAS ワールドペアコンテスト 2023 9月募集開始
- ❖ 三浦手漉き和紙を考える会 6月 初声小学校紙漉き授業
- ❖ 手漉き和紙の里を訪ねる旅 愛媛県（予定）

 piaras.org

 info@piaras.org



 @npopiaras

 @PIARAS

 YouTube @piaras1878